

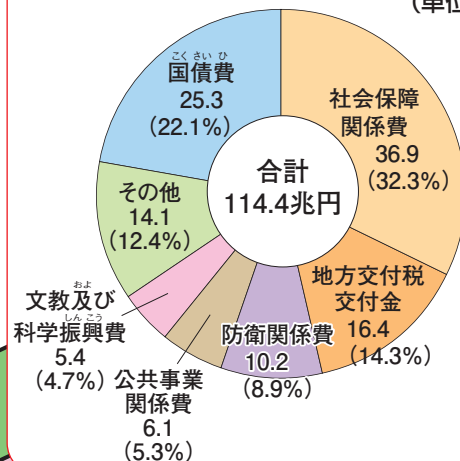
税金の使い道はどのように決められるのだろう？

税金の使い道はどのように決められているのかな？

ぜいむさんは、左のようにまなぶさんとよし子さんに話しました。「住民の願いをかなえるために、どれだけの税金を何に使うのか、どうやって決めているのかな？」「簡単な話し合いで決めているとは思えないけれど…」と、二人も分からないようです。

そこで、「税金の使い道はどのようにして決めるのか」そのなぞを調べることにしました。

令和5年度一般会計当初予算(歳出) (単位:兆円)

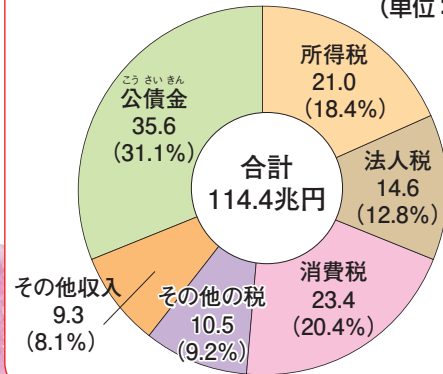


税金の使い道は、国民の代表が国会で!

国の収入の多くは、国民が納める税金だよ。国は、わたしたちの生活を豊かにするために税金を使っているんだね。

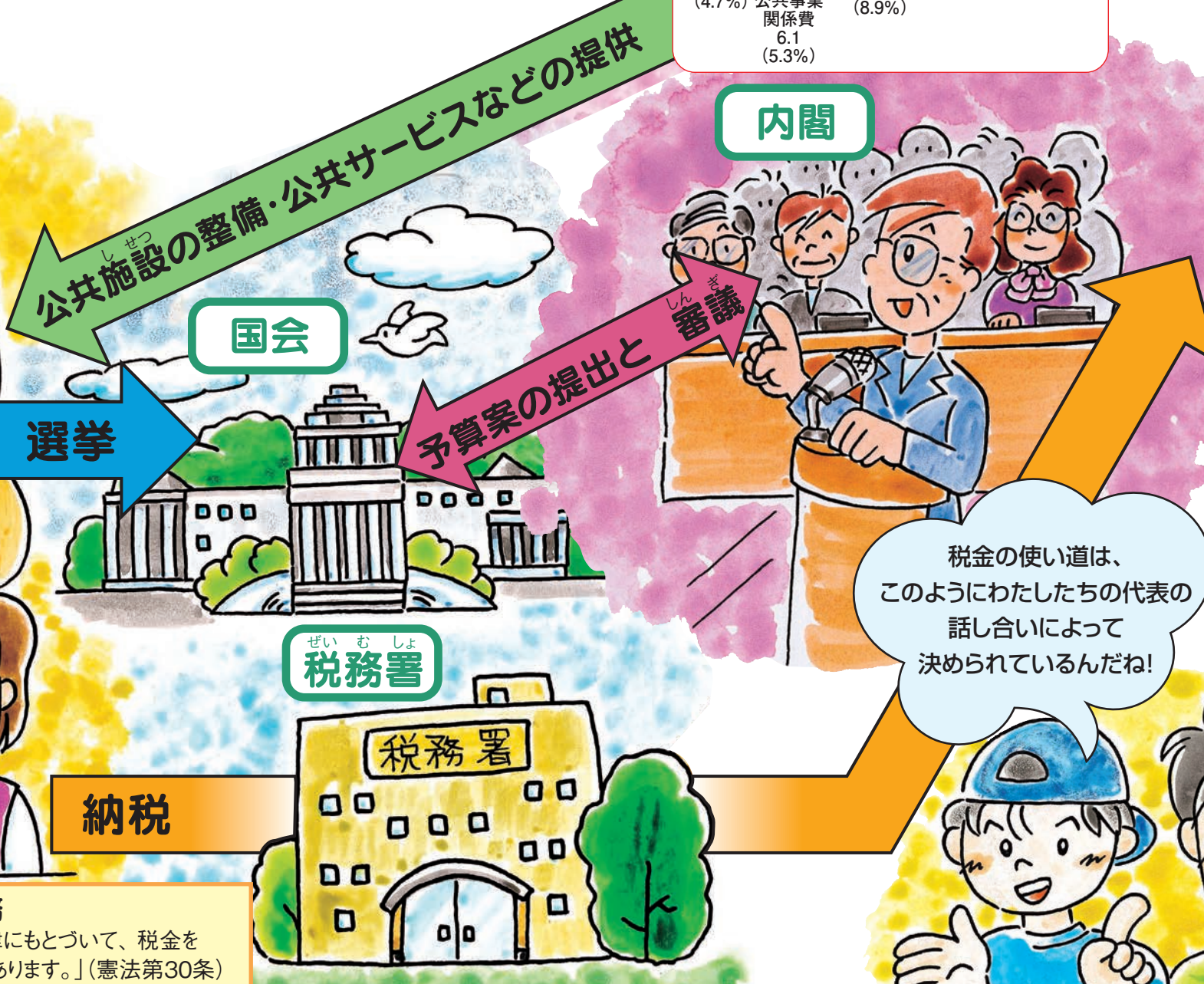
内閣は、1年間どれくらいの収入があるのか、それをどのようにして使うのかという予算案を立て、国会に提出するんだ。そして、国民の代表が集まる国会で話し合い、税金の使い道が決まるんだよ。

令和5年度一般会計当初予算(歳入) (単位:兆円)



●北海道や市町村の予算の決め方

北海道や市町村では、選挙で選ばれた道民・市町村民の代表が集まる道議会・市町村議会で話し合われています。



税金の使い道は、このようにわたしたちの代表の話し合いによって決められているんだね!

結局は、わたしたち国民が税金の使い道を決めているんだね。

納税の義務

「国民は、法律にもとづいて、税金を納める義務があります。」(憲法第30条)